



自分で考えるから楽しい

校長 海老澤 孝代

猛暑日が続き暑い夏休みでした。元気に登校してきてくれた子どもたちの姿を見て安心いたしました。まだ暑さは続くようなので、熱中症に気を付けて学校生活を進めてまいります。

さて今年の夏は、全国高校野球選手権記念大会での神奈川県代表慶応高校の活躍に沸きました。監督は優勝後の会見で、「高校野球の可能性、多様性を示したかった。新しい姿にもつながるような勝利になった。」「慶応高校が優勝することで、高校野球、そして野球界が変わっていくことになればいい。」と述べられたのが私には印象的でした。

慶応高校は『エンジョイ・ベースボール』を掲げ、選手の主体性を尊重していたと新聞報道で知りました。学校も、子どもたちの主体性を大切にしています。白根小学校では算数科を重点研究とし、『白根っ子～子どもが考えたくなる授業づくり～』を研究主題として、教育委員会や他校から講師を招いて授業改善に取り組んでいます。知らしらない・得意ではない・できない・自信がないことにも熱ねっ心に（主体的に）コラボレーションすることで問題解決する（学び合う）子どもたちの姿を目指しています。身の回りのものに注目し、調べたり比べたりしてみんなで考え、学ぶ楽しさを感じてほしいと願っています。

他にも監督は「例えば狙い球も最後は自分で考える。自分で考えることが一番難しく、一番面白い。」「自分で考えるという作業をチーム作りのあちこちに組み込んだ。練習メニューを決めてやらせた方が勝てるかもしれない。そういう意味では遠回りしているかもしれない。でも、決して遠回りしていたわけではなかった。」とも話しています。優勝したい、日本一になりたいという目標に向かって、仲間と考え試行錯誤しながら結束力を高めて勝利に向かう。解決したい目的や目標が分かっているならば、自ずと意欲的に取り組むことになります。主将を中心に楽しみながら、そして自分らしく躍動する選手の姿が新鮮に映りました。

これから子どもたちが活躍していく時代に、大切なことは何だろうか、エンジョイ、楽しいと感じられるようにするためにはどのように取り組んでいけば良いのだろうか、と考えました。『自分で考えるから楽しい。』そのことが、これからの時代を創っていくキーワードになるのかもしれない。